

病害からサツマイモを守ろう

サツマイモ基腐防除対策

町内でサツマイモ基腐病キクビ 病原菌を保菌しているの、

の発生が確認されました。 種イモには使えません。

基腐病やつる割病ワレなどが 詳細は下記の問い合わせ

発生したほ場の種イモは病 先に連絡ください。

○採苗方法と苗消毒

- ① 基部から離れるほど病原菌の感染リスクが低くなるので、地面から約5cm離れた位置で採苗する。
- ② 苗消毒は必ず採苗当口に行う。
- ③ ペンレート水和剤500倍液に苗の基部を20〜30分間浸して苗消毒を行う。消毒液は使用日ごとに新たに作成する。



○防除対策

- ① 病原菌の伝染源となる残さは、ほ場から取り除きましょう。除去が困難な場合は、耕うんして残さの分解を促進させましょう。
- ② 病害のひどかったほ場は最低1年間休耕する。
- ③ 病原菌は水が溜まりやすい場所で発生しやすいので、ほ場の排水対策は適切に行う。
- ④ 異常症状の出たほ場から種イモは採取しない。
- ⑤ 県内の発生地区から種イモや苗を持ち込まない。

問い合わせ先

県北薩地域振興局農政普及課出水市駐在
☎(63)3115

病害の見分け方

塊根の成り口側の腐敗が多く、軟化はしない



サツマイモ基腐病



茎の黒褐変

塊根は軟化し腐敗



つる割病+細菌性腐敗

